

## 臓器提供の選択肢提示における「ご家族の皆さまとお話したいこと」リーフレット 使用後のアンケート調査用紙 (Ver 1.1)

このたびは、お忙しいなか本調査にご協力いただきありがとうございます。今回お使いいただいたリーフレットは、終末期の状態の患者さんご家族に対し、臓器提供に関するご本人やご家族の意思を確実に汲みとること、そして臓器提供の選択肢提示の際における担当医の負担を少しでも軽減させられることを目的とし、厚生労働省科学研究費補助金（免疫アレルギー疾患等政策研究事業）において作成されたものです。今後、より多くの施設・先生方に使用していただけるように、このリーフレットの内容をさらに改善していきたいと考えておりますので、今回お使いいただいた後のご感想・ご意見をぜひお聞かせください。



### ● 表紙・裏表紙

#### 【表紙・裏表紙の色合い・デザインについて】

- このままでよい
- 色合い・デザインの変更がのぞましい

(変更・修正が望ましいと思われる内容を具体的に記入して下さい)

#### 【表紙タイトル「ご家族の皆さまとお話したいこと」について】

- このままでよい
- タイトルを変更・修正した方がよい

(変更・修正が望ましいと思われる内容を具体的に記入して下さい)

## 【表紙の説明文について】

皆様とご相談するために、現在の状況と、起こりうることをまとめました。これからのことについては、この紙をお持ち帰りになってご家族でお話し合いをしてくださってもけっこうです。ご心配、ご不明なことはなんでもご遠慮なく、主治医・看護師にご相談ください。

- このままでよい
- 説明文を変更・修正した方がよい

(変更・修正が望ましいと思われる内容を具体的に記入して下さい)

## ● 本文面について



## 【本文面の色合い・デザインについて】

- このままでよい
- 色合い・デザインの変更がのぞましい

(変更・修正が望ましいと思われる内容を具体的に記入して下さい)

【「機能の障害と処置」の項目について】



脳の機能がすべて失われていると考えられます。

- 痛みなどの刺激にまったく反応がない。
- 昏睡状態にある。
- 記憶、感情、運動の命令などの機能が失われている。
- 呼吸・循環機能の調整などの機能が失われている。



心臓の機能が低下しています。

心臓を動かすために、現在、薬剤を使用せざるを得ない状況です。



ご自身で呼吸することができません。

人工呼吸器を使用しないと呼吸ができない状況です。

- このままでよい
- アイコン（) を変更・修正した方がよい
- 説明文を変更・修正した方がよい

(変更・修正が望ましいと思われる内容を具体的に記入して下さい)

【「回復の見込み」の項目について】

できる限りの処置を施しておりますが、残念ながら回復の見込みはありません。

- このままでよい
- 説明文を変更・修正した方がよい

(変更・修正が望ましいと思われる内容を具体的に記入して下さい)

【「起こりうる事態」の項目について】

- ・ 急激な血圧の低下      ・ 突然の心臓停止
- ・ 肺炎、敗血症などの重篤な感染症等

- このままでよい
- 項目を追加・削除、または説明文を変更・修正した方がよい

(変更・修正が望ましいと思われる内容を具体的に記入して下さい)

【「ご意思をお聞かせください」の項目について】

これより先はご意思の確認が必要な段階です。  
ご本人が「万一のときはこうしてほしい」とおっしゃっていたことがあれば医師にお伝えください。また、ご家族のご希望をお伝えください。

- 命の続く限り最後まで処置してほしい。
- 回復の見込みがないのなら、処置はやめてほしい。

- このままでよい
- 説明文を変更・修正した方がよい

(変更・修正が望ましいと思われる内容を具体的に記入して下さい)

